

令和6年度  
認定看護管理者教育課程  
ファーストレベル

募集要項



公益社団法人静岡県看護協会

公益社団法人静岡県看護協会 認定看護管理者教育課程ファーストレベル  
令和6年度(2024年度)募集要項

1 教育理念

多様なヘルスニーズを持つ個人、家族及び地域住民に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することをめざし、一定の基準に基づいた看護管理者を育成する体制を整え、看護管理者の資質と看護の水準の維持及び向上に寄与することにより、保健医療福祉に貢献する。

本教育機関は、自律的研鑽を求める教育・学究の場となることを意図し、変動する環境に適応し発展へ向けて挑戦し続けられる人材を育成する。ひいては、認定看護管理者の社会的認知をもたらす人材の輩出をめざす。

2 教育目的

看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。

3 到達目標

- (1) ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。
- (2) 組織的看護サービスの提供上の諸問題を客観的に分析できる。
- (3) 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。

4 教育課程

|           | 教 科 目        | 時 間 数 |        |
|-----------|--------------|-------|--------|
| カリキュラム基準  | ヘルスケアシステム論 I | 15 時間 | 111 時間 |
|           | 組織管理論 I      | 15 時間 |        |
|           | 人材管理 I       | 30 時間 |        |
|           | 資源管理 I       | 15 時間 |        |
|           | 質管理 I        | 15 時間 |        |
|           | 統合演習 I       | 21 時間 |        |
| カリキュラム基準外 | 特別講義         | 21 時間 |        |

5 教育課程修了要件

認定看護管理者カリキュラム基準に定める全教科目の修得をもって認定看護管理者教育課程の修了とする。

教科目の修了とは、以下の項目を満たした場合をいう。

- 1) 各教科目時間数の4/5以上の出席があること。
  - 2) 各教科目のレポート評価がC以上(A・B・C・Dの4段階)であること。
- 6教科目すべてに合格していること。

A: 80~100点、B: 70~79点、C: 60~69点、D: 59点以下

6 実施機関

公益社団法人静岡県看護協会

7 主たる会場

静岡県看護協会会館 (静岡市駿河区南町 14 番 25 号 エスパティオ3階)

8 開催期間

2回開催

第1回 令和6年 5 月 13 日(月)~ 7 月 23 日(火) 24 日間

第2回 令和6年 10 月 1 日(火)~12 月 6 日(金) 24 日間

\* 土日・祝日にも講義があります。

## 9 受講要件

下記の1)～3)の要件をすべて満たしている者。

- 1) 日本国の看護師免許を有する者。
- 2) 看護師免許を取得後、実務経験が通算して5年以上ある者。(准看護師経験は含まない。)  
\* 実務経験は育児休業、病気休業等の休職期間を除く。  
\* 受講時に実務年数が5年以上であれば応募可能。
- 3) 管理業務に関心がある者。

## 10 募集定員

第1回 50名 第2回 50名 計100名

## 11 受講料

- 1) 受講料 (修了審査料を含む)  
令和6年度 日本看護協会会員 132,000円 (税込)  
非会員 198,000円 (税込)
- 2) その他  
資料代 5,500円 (税込) ※既納料金は返金しません。

## 12 受講申込方法

- 1) 申込期間  
令和6年2月9日(金)～ 2月26日(月) **12時必着**  
※持参の場合は、平日16時まで受付 (土日は除く)
  - 2) 提出書類等 (1)～(5)
    - (1) 令和6年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル 受講申込書 (様式1)
    - (2) 勤務証明書 (様式2)
    - (3) 看護師免許証の写し (A4サイズ縮小コピー)
    - (4) 小論文
    - (5) 返信用封筒 (1名につき1封筒)  
角形2号封筒(240×332mm)に受講者の住所氏名を明記し、140円切手を貼付する。
- \* 提出書類に記載漏れがないように記載し、提出前にご確認ください。  
\* 書類に不備があった場合は、受け付けません。

### 【小論文課題】

あなたが日々の看護実践の中で取り組んだ改善活動をひとつあげ、その取り組みからリーダーとして求められる自己の課題について、テーマを付けて述べなさい。

- A4用紙(縦)1枚に横書きで本文 800字以内。(見出し、引用・参考文献等は文字数に含めない。)
- 本文の最終行に総文字数を記載する。
- 表紙は不要。
- テーマ、施設名、職位、氏名を記載する。
- フォントは、MSP 明朝 10.5ポイント。
- 余白は、上下左右 各20mmずつ空ける。
- 「である」調で記載する。
- 受講動機ではなく、課題に応じた内容を記載すること。
- 論文は、簡条書きとしない。

#### 記載例

1行目…タイトル(自身のテーマを記載すること。)  
2行目…施設名・職位・氏名(右揃えにすること。)  
3行目…本文

#### 記載例

|     |                    |
|-----|--------------------|
| 1行目 | タイトル               |
| 2行目 | 施設名 職位 氏名          |
| 3行目 | ○○(一本文)○○○○○○○○    |
|     | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
|     | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
|     | ○○○○○○○○           |
| 文末  | 文字数(最終行)           |

## 3) 提出先

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ3階  
公益社団法人静岡県看護協会 教育研修部宛

※封筒表面に「ファーストレベル受講申込書類在中」と朱書きしてください。

### 13 受講決定

- 1) ファーストレベル受講審査会が書類と小論文を審査し、認定看護管理者教育運営委員会が受講決定する。
- 2) 書類審査  
応募書類は、正しく記載していること。

#### 3) 小論文審査(評価指標)

| 項目       | 評価の視点   | 配点   |
|----------|---|------|
| 1 課題の理解  | ①与えられた課題にそった内容である。  | 10点  |
| 2 管理的視点  | ①自身が取り組んだ実践をリーダー的視点で述べている。<br>②情報収集・現状把握・現状分析が述べられている。  | 30点  |
| 3 論述     | ①テーマは論述内容を示している。<br>②テーマとした根拠を論述している。<br>③論点・論旨がわかりやすい。<br>④自身の考えを自身の言葉で述べている。<br>⑤看護実践の取り組み状況が述べられている。 | 40点  |
| 4 記述の適切性 | ①書式設定等の規定に沿って記述されている。<br>②言葉の使い方等が適切である。<br>③誤字・脱字など誤りがない。<br>④個人が特定される表現が記述されていない。                     | 20点  |
| 合計       |   | 100点 |

#### 4) 受講決定の通知

令和6年3月下旬に、応募者本人宛に受講の可否を通知する。

※4月初旬を過ぎても通知が届かない場合は、教育研修部までご連絡ください。

### 14 その他

- 1) 提出された書類は返却いたしません。
- 2) 受講決定後に受講をキャンセルされる場合は電話で連絡してください。

### 15 個人情報の取り扱い

本会の個人情報保護方針および規定に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。この個人情報は、研修会申し込みに伴う書類発送、学習ニーズや、研修評価に伴う調査依頼、研修案内に用い、この利用目的の範囲を超えて取り扱うことはしません。なおこの範囲を超える場合には、ご本人の同意を得た上で取り扱います。

### 16 問合せ先

公益社団法人静岡県看護協会  
教育研修部 認定看護管理者教育課程ファーストレベル担当  
〒422-8067 静岡市駿河区南町 14-25 エスパティオ3階  
TEL: 054-202-1760

# 令和6年度カリキュラム

**【教育目的】**

看護専門職として必要な管理に関する基本的な知識・技術・態度を習得する。

**【到達目標】**

- 1.ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。
- 2.組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。
- 3.看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。

| 教 科 目        | 単 元                | 教 育 内 容   | 時 間 |
|--------------|--------------------|---|-----|
| ヘルスケアシステム論 I | 社会保障制度概論           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障制度の体系</li> <li>・社会保障の関連法規</li> </ul>  | 15  |
|              | 保健医療福祉サービスの提供体制    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健医療福祉制度の体系</li> <li>地域包括ケアシステム</li> <li>地域共生社会</li> </ul>  |     |
|              | ヘルスケアサービスにおける看護の役割 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護の社会的責務と業務基準</li> <li>看護専門職論</li> <li>看護関連法規</li> <li>倫理綱領</li> <li>看護業務基準</li> </ul>  |     |
|              |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看看連携</li> <li>・地域連携における看護職の役割</li> <li>・保健医療福祉関連職種を理解</li> </ul>  |     |
| 組織管理論 I      | 組織マネジメント概論         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織マネジメントに関する基礎知識</li> <li>・看護管理の基礎知識</li> <li>*目標管理の実際</li> </ul>   | 15  |
|              | 看護実践における倫理         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護実践における倫理的課題</li> <li>・倫理的意思決定への支援</li> </ul>  |     |
| 人材管理 I       | 労務管理の基礎知識          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働法規</li> <li>・就業規則</li> <li>・健康管理（メンタルヘルスを含む）</li> <li>・雇用形態</li> <li>・勤務体制</li> <li>・ワークライフバランス</li> <li>・ハラスメント防止</li> </ul> | 30  |
|              | 看護チームのマネジメント       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームマネジメント</li> <li>・看護ケア提供方式</li> <li>・准看護師への指示と業務</li> <li>・看護補助者の活用</li> </ul>  |     |
|              |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップとメンバーシップ</li> <li>・コミュニケーション</li> <li>・ファシリテーション</li> </ul>  |     |
|              | 人材育成の基礎知識          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人学習の原理</li> <li>・役割理論</li> <li>・動機づけ理論</li> <li>・人材育成の方法</li> </ul>  |     |
| 資源管理 I       | 経営資源と管理の基礎知識       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療・介護報酬制度の理解</li> <li>・経営指標の理解</li> <li>・看護活動の経済的効果</li> </ul>  | 15  |
|              | 看護実践における情報管理       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・看護情報の種類と特徴</li> <li>・情報管理における倫理的課題（情報リテラシー）</li> </ul>   |     |
| 質管理 I        | 看護サービスの質管理         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの基本概念</li> <li>・看護サービスの質評価と改善</li> </ul>  | 15  |
|              |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護の質向上への静岡県看護協会の取り組み</li> </ul>   |     |
|              |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護サービスの安全管理</li> <li>・看護サービスと記録</li> </ul>  |     |
| 統合演習 I       | 演習                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を踏まえ、受講者が取り組む課題を明確にし、対応策を立案する</li> </ul>  | 21  |
| 時 間 数        |                    |   | 111 |
| 特別講義         | 論理的思考技法            | 論理的思考   | 21  |
|              |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章・文書作成(レポート作成)</li> </ul>  |     |
|              |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の発見と明確化</li> <li>・問題解決過程</li> </ul>   |     |

注:教育内容は、日本看護協会の認定カリキュラム基準である。但し、\*の内容は、静岡県看護協会独自の内容である。

## 令和6年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル 受講申込書

公益社団法人 静岡県看護協会

|      |  |
|------|--|
| ふりがな |  |
| 氏 名  |  |

|   |  |             |  |
|---|--|-------------|--|
| ふりがな  |  |             |  |
| 施設名   |  |             |  |
| 施設住所  | 〒  | TEL<br>(施設) |  |
| 自宅住所  | 〒  | TEL<br>(携帯) |  |
| 受講要件<br>全てに <input checked="" type="checkbox"/><br>してください。    | <input type="checkbox"/> 日本国の看護師免許を有する者<br><input type="checkbox"/> 看護師免許を取得後、実務経験が通算 5 年以上ある者<br><input type="checkbox"/> 管理業務に関心がある者 |             |  |
| 受講希望時期<br>どれかに <input checked="" type="checkbox"/><br>してください。 | <input type="checkbox"/> 第1回 (5月～7月)<br><input type="checkbox"/> 第2回 (10月～12月)<br><input type="checkbox"/> どちらでもよい                     |             |  |

注1: 令和6年2月1日現在で記入してください。

注2: 施設名は正式な名称を記入してください。

注3: 受講希望時期に関しては、状況により調整させていただきご了承ください。

## 【個人情報の取り扱い】

本会の個人情報保護方針および規定に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。この個人情報は、研修会申し込みに伴う書類発送、学習ニーズや、研修評価に伴う調査依頼、研修案内に用い、この利用目的の範囲を超えて取り扱うことはしません。なおこの範囲を超える場合には、ご本人の同意を得た上で取り扱います。

和暦 年 月 日

勤 務 証 明 書

氏名 \_\_\_\_\_

上記の者は当施設において、以下のとおり勤務していることを証明します。

在職期間 : 和暦 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月より、

和暦 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月まで 通算 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月間

施 設 名 :

所 在 地 :

施設長名 :

印

※本書1枚で受講要件(看護師免許を取得後、実務経験が通算して5年間以上ある者)を証明できない場合は、本書を複写し、複数枚提出してください。